

2. 室蘭の夜景 - 輝く光の宝石箱 -

室蘭の夜景は、以前から知る人ぞ知る穴場で、「室蘭港の夜景」として室蘭八景にも選ばれ、測量山鉄塔ライトアップや白鳥大橋のイルミネーションも加わり、さらに輝きを増しています。

平成 21 年 9 月に「広報むろらん」でカラー特集して以来、この港町ならではの美しい明かりとともに、さらに注目を集めたのが工場群の夜景です。

この年、市で毎年 1 回開催している市民見学会を「夜景見学」として募集したところ、定員の 5 倍以上の申し込みとなり、急きょ 2 回目を開催しました。これらをきっかけに、市民の夜景への関心と相まって、夜景観光に対するさまざまな取り組みが始まりました。(白鳥大橋...18 ページ、測量山鉄塔ライトアップ...19 ページ参照)

室蘭港の夜景（室蘭八景）

工場群の明かりと海辺から高台にのびる民家の灯が港内の海面に映えて美しく、見る人にあふれるロマンを感じさせ、室蘭八景の一つにも選ばれています。室蘭各所の展望台などからさまざまな表情を見せ、秋は気温が下がり、空気が澄むため遠くまでくっきりと見渡せるとともに、漁業の盛んな室蘭ならではの夜景であるイカ釣り漁船の漁火が水平線に並ぶなど、室蘭の夜景を鑑賞する上で適している季節です。

夜景観光と日本工場夜景

室蘭市は、北海道を代表する工業都市として発展してきた「ものづくりのまち」です。周囲を海が取り囲み、地球岬をはじめ、美しい海岸線が続いています。また、港内には東日本最大のつり橋である白鳥大橋が、優雅な白い姿で架かっています。

平成 21 年 9 月の「広報むろらん」での特集「輝く夜の宝石箱」は、この港町ならではの美しい明かりと工場群の夜景が注目を集めるきっかけとなりました。白鳥大橋のライトアップや、湾岸沿いの工場群の明かりなど、室蘭の夜をたくさんの光が演出。まるで宝石箱の中のような情景は、今、新しい室蘭の魅力となっています。この夜景を新たな観光資源として活用する動きが活発になり、同年 12 月には、夜景を始めとする観光資源の魅力発信に向けて、市・商工会議所・観光協会が「室蘭観光推進連絡会議」を発足。同会議ではさまざまな観光資源を組み合わせた魅力発信に努めるため、「夜景・ものづくり観光ワーキンググループ」と「食の観光ワーキンググループ」が設置されました。そして、バスガイドとの夜景勉強会や、市内の公共施設・ホテルなどでの夜景移動写真展、全国各地でのプロモーションを行い、これらの取り組みが新聞やテレビなどで紹介されると、室蘭夜景が全国的に広まる中、民間事業者の動きにもつながっていました。

平成 22 年には、郵便局(株)北海道支社で、同会議の協力を得て、胆振管内の郵便局などで室蘭夜景をテーマにしたご当地フレーム切手を期間限定発売。急きょ増刷するほどの人気でした。夜景スポットを巡る夜景バスツアーも好評で、地元バス会社や大手旅行代理店が注目しています。また、港町室蘭ならではの楽しみ方をさせてくれるのは、同年 4 月から始まった室蘭夜景ナイトクルージング。室蘭港を縁取る工場の明かりを、普段は見られない海上から眺める迫力は、室蘭夜景の新たな魅力を伝えてくれます。

平成 23 年 2 月、川崎市(神奈川県)で全国工場夜景サミットが開催され、室蘭からは、同会議が出席しました。サミットでは、室蘭市・川崎市(神奈川県)・四日市市(三重県)・北九州市(福岡県)による「日本四大工場夜景エリア」共同宣言を行い、各市がナイトクルーズやバスツアーなど、工場夜景観光に取り組む中、これからの工場夜景観光を一過性にしないための連携を模索しています。

平成 24 年 11 月には、室蘭市が開港 140 年・市制施行 90 年の節目の年でもあることから、本市において「全国工場夜景サミット」の第 3 回を開催。雑誌じゃらんやインターネットサービス「美人時計」での事前告知、現在の J X エネルギー(株)室蘭製造所、北海道開発局室蘭開発建設部

の協力のもと、全国初となる夜間の工場構内夜景鑑賞ツアーなどで室蘭を大きくPRしました。

現在は、周南市(山口県)と尼崎市(兵庫県)、富士市(静岡県)、千葉市(千葉県)が仲間入りし、「日本八大工場夜景」を宣言しています。

室蘭夜景の魅力(夜景ビューポイントの詳細は、展望台...26 ページ参照)

夜景のバリエーションの多さと適度な距離感

- ・丘陵が港を囲む室蘭の地形は、沢ごとに発達した町の明かりが、そのまま沢に連なる夜景となっている。そのため高台から港を望むと、いろいろな夜景の姿に出会える。
- ・高低差のある地形により、見上げる夜景や見る人の目線で眺める夜景も美しい。
- ・市内で一番高い測量山展望台でも標高 199.6mのため、その近くまで広がる住宅街の明かりによって、夜景が身近に感じられる。

「ものづくりのまち」ならではの灯(あかり)

北海道でも有数の工業都市である室蘭市は、「鉄のまち」「ものづくりのまち」として発展し、道内の工業を支えてきました。明治期から天然の良港は石炭積み出し港として栄え、近代製鉄業として100年の歴史を持つ新日鐵住金、日本製鋼所の鉄鋼業をはじめ、化学工業、さらに関連の中小企業が港を囲むように林立しています。立ち並ぶ工場群の明かりは、ライトアップのための点灯ではなく、工場の安全を守る保安灯です。その輝きは「ものづくりのまち室蘭」独特の風景として、人々の心をつかんで離しません。

魅惑の夜景を違った角度から楽しめる夜景ナイトクルージング

普段の見慣れた地上からのアングルとは一味違う、洋上から見上げる迫力の夜景です。新しい発見、新しい驚き、そして新しい楽しみに出会えるかもしれません。

夜景ナイトクルージング

申込先	スターマリンKK	電話 0143-27-2870
	KKエルム	電話 0143-27-1822

mini情報 ここに注目、夜景鑑賞スポット

- ・室蘭インターチェンジから白鳥大橋に向かう道道127号線から見える
JXエネルギー(株)室蘭製造所
高速道路で室蘭を訪れた人は、インターチェンジから白鳥大橋に向かう途中で見える製造所の夜景に注目。
- ・国道36号と37号は工場夜景の宝庫
国道に加えて道道や市道を走行して市内を一周できる室蘭は、その車窓から、常に工場夜景をさまざまな角度から間近で移動しながら鑑賞できる。
- ・製造所と製鉄所の煙突から噴き出す迫力の炎
製造所と製鉄所の煙突から噴き出す青やオレンジの炎「フレアスタック」は必見。
- ・水平線上の明かり
空気が澄んでいる日は、水平線上にも注目。噴火湾(内浦湾)対岸や苫小牧市のまち明かりがくっきりと見える。また、秋には、水平線上に明るく輝く漁船の明かりにも注目。
- ・港には大小さまざまな船
白鳥大橋通過中など、港が見渡せる場所では、湾内からも目が離せない。海上の大小さまざまな船の明かりも夜景の一部。岸壁沿いや、高台からは、入港が多い大型客船の明かりも室蘭ならではの、入港情報は、市ホームページ「港湾」で確認を。



「ボルトとナットで工場づくり体験」
(ボルト工房...83ページ、ボルトタ...95ページ参照)